

一からわかるドン・ボスコ講座

ドン・ボスコの友情

ルイジ・コモツロとの出会い

p70-72

「聖人の学生」の登場



DBと「一人はもう一人にとってなくてはならない存在」に

コモツロの忠告 p72-73

DBのよき指導者になる



ドン・ボスコにとって友人とは

「サレジオ会の学校の校則」(1877年)より

1. 友達を兄弟のように尊敬し、愛しなさい。
互いによい手本でもって励まし合うようにしよう。
2. 主が言われるとおりに「互いに愛し合いなさい」。しかし「つまずかせてはならない」。ことばあるいは態度でもって人をつまずかせるものは、友達ではなく魂を殺害するものである。
3. できることなら、快く互いに助け合い、ためになる助言を与え合うようにしよう。
レクリエーションのとき、気持ちよく差別なく友達を仲間に入れよう。

4. すべては、よいことも悪いことも神から受け取るべきである。その意味で友達の身体や性格の欠点を笑ってはいけない。あなたが今笑っている友達の欠点がもしいつかあなたにも起こるように神がゆるせば、人からどのようにされたいと思うだろうか。

5. ほんとうの愛徳は人に対して忍耐し、快くゆるすことである。また、自分のほうから人の気持ちを傷つけないようにしよう。特に下級生に対して。

6. 傲慢を避けよう。傲慢な人は神からも人からも軽蔑されるのである。

ドン・ボスコの友情の三つの特徴

1. 深い愛情

2. お互いに切磋琢磨しながら高めあう存在

3. ゆるしあえる存在

